

第4回歴史の福井谷 伝説の直谷城 体験ツアー

直谷城址および福井洞窟を中心にした体験ツアー。今年で4回目になります。今回は「伝説の直谷城体験ツアー」として、企画しました。

10月14日(日)、早朝から食材の準備や姫落とし岩の安全策等にかかるスタッフ。そして食材のいいにおいがただよう頃、参加者が集まりました。

参加者は大人11名、子ども3名、佐世保市内や松浦市などからの参加でした。



きゃーわーい
(東物見岩で)

開会行事のあと、今回の直谷城のガイドをつとめる和田隆(副会長)から直谷城についての説明、そしていよいよ体験が始まりました。まず中世の武士が携えたであろう腰兵糧(弁当)づくり体験です。おにぎりは玄米、古代米の2種類、これにめざしやたくあんといったおかずを添え、ハランで包みます。



出陣前の腰兵糧作り

参加者はこの弁当を持って、追手門から一の郭(くるわ)を目指しました。途中、土塁や空堀跡、井戸跡などの案内を受け、険しい自然の城郭を感じながら登って行きました。

その険しさの体感東物見岩や姫落としの断崖で最高潮。福井、上直谷の集落や松浦、世知原、佐々の山並みの絶景に感動しながらも、足元の30mほどの断崖絶壁には悲鳴が出ていました。それでも姫落としの断崖では、山岳会の方々のサポートを受け、

ほとんどの参加者が、岩を(少し)降りる体験に参加されていました。

一の郭跡の広場では縄文弓による射的体験を行いました。こうした遊びがなくなった今、子どもたちは(大人も)大喜び。なかなかの(イノシシ)に当たりませんが、何度も何度も挑戦されていました。



親も子も骨中 てて矢の行方は

そうして昼食タイム。珍しいおにぎりの弁当に、「おいしい、おいしい」の連発。

一行は搦手門の方から城跡を後にしました。向かう先は福井洞窟です。



たてんの体験のあとで

福井洞窟は現在佐世保市教委が発掘調査中。この日は休みでしたが、発掘に携わっておられる久村貞夫氏に特別に調査の概要を案内していただきました。4万年を超える昔の人類の生活が現実味に感じられる貴重な説明でした。

直谷城址の墓石を最後に訪ね、この体験ツアーを終えました。たくさん歩きお疲れだったと思いますが、「貴重な一日だった」と異口同音に感想をいただきました。皆さんお疲れ様でした。



4万年以上も前の人類のロマン